

シンポジウム「男女共同参画の視点で考えるCSR」

日 時：2010年6月26日（土）
午後2時～4時30分
会 場：交流ラウンジ

基調講演では、CSRに対する意識の高まりや企業・団体の取組状況をふまえ、SRへと向かう社会の動向を共有した。合わせて、今後のSRの動きに影響力を持つと思われるISO26000と、男女共同参画との接点に関し情報を提供した。

トーク＆トークでは、会場の参加者を交え東海地域におけるCSRへの取組の特性などを探るパネルディスカッションを行った。

講 師／

田村太郎(ダイバーシティ研究所代表)

村田元夫(株式会社ピーエスサポート)

参加人数／38人 (女性 28人、男性 10人)

参加費／500円



ご意見ご感想をいただきました

- ・わかりやすい説明でCSRのことが良くわかりました。消費者としてCSRを意識して行きたいと思います。
- ・人口の問題という大きな問題という大きな視点から入っていったのがよかった。トリプルボトムラインが求められるようになった背景についてもっとくわしくききたかった。
- ・社会の問題に関してあまりかかわって来なかったので、反省した。
- ・CSRの現状についてとその内容について知りたいと思いました。男女共同という視点でのCSRの見方は学びになりました。
- ・CSRの学習会は目にふれることはありますが「男女共同参画」の視点からは、はじめてで興味深く、大事だと思いました。“男女共同参画”を言わなければならないのは、日本が全体として男女が平等な関係ではない(女性が差別され疎外されてきた社会である)ことをきちんと男性にわかってほしいです。



プランなごや 21

目標 5 労働における男女平等



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
NPO法人参画プラネット